

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

## 住民総参加型スポーツイベント『チャレンジデー2018』アワード受賞自治体が決定 チャレンジデー大賞(参加率が最も高かった自治体)は 新郷村(青森県) 114.6%

笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区赤坂 理事長:渡邊一利 以下:SSF)は住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー2018」を、5月30日(水)に開催いたしました。

全国121自治体(58市1区49町13村)で実施された「チャレンジデー2018」は、  
**参加者数 3,315,699人、平均参加率 61.2%**の結果となりました

(昨年は参加者数 **3,391,469**人、平均参加率 **57.7%**)。

実施自治体の中で、参加率(人口における参加者数の割合)が最も高かった自治体に贈られる「チャレンジデー大賞」には、青森県新郷村(114.6%)が輝きました。初実施の自治体で最も参加率が高かった自治体に贈られる「チャレンジデー新人賞」は群馬県南牧村(36.7%)が受賞しました。

※「参加率アップ賞」と「カテゴリー別優秀賞」は2枚目をご確認ください。

- ◆チャレンジデー大賞 2018(参加率が最も高かった自治体)  
新郷村(青森県)……114.6%  
(参加者数 2,955人/人口 2,579人)
- ◆新人賞(初実施の中で、参加率が最も高かった自治体)  
南牧村(群馬県)……36.7%  
(参加者数 707人/人口 1,929人)



### チャレンジデー2018 開催概要

【実施日】2018年5月30日(水)午前0時～午後9時

【実施自治体】121自治体(58市1区49町13村)

【参加者数】3,315,699人

【主催】公益財団法人 笹川スポーツ財団、各実施自治体実行委員会

【後援】総務省、外務省、厚生労働省、経済産業省、観光庁、スポーツ庁他

【特別協賛】公益財団法人 日本財団 【協力】ミズノ株式会社

チャレンジデーは、日常的な運動・スポーツの習慣化に向けたきっかけづくりや住民の健康づくりなどを目的に、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施される住民総参加型のスポーツイベントです。

人口規模がほぼ同じ自治体同士で、午前0時から午後9時までの間に15分間以上継続して運動やスポーツを行った住民の参加率(%)を競い合い、敗れた場合は対戦相手の自治体の旗を、翌日から庁舎のメインホールに1週間掲揚するというユニークなルールによって行われます。

この件に関するお問合せ先

笹川スポーツ財団 チャレンジデー担当: 森田/武長/田中/岩田/山下

TEL: 03-6229-5300 E-mail: [cday@ssf.or.jp](mailto:cday@ssf.or.jp)

### ◆参加率アップ賞

昨年(チャレンジデー2017)と比較して、参加率が最も上がった自治体

市区町村	都道府県	上昇数	2017年 → 2018年
下関市	山口県	21.4 <sup>ポイント</sup> UP	47.3% → 68.7%

### ◆カテゴリー別優秀賞

同カテゴリー内で参加率が最も高かった自治体

カテゴリー	市区町村	都道府県	参加率	参加者数/人口(※)
カテゴリー1 (人口 4,999 人以下)	新郷村	青森県	114.6%	2,955 人/2,579 人
カテゴリー2 (5,000~9,999 人)	五城目町	秋田県	85.9%	8,180 人/9,519 人
カテゴリー3 (10,000~29,999 人)	松田町	神奈川県	75.2%	8,246 人/10,966 人
カテゴリー4 (30,000~69,999 人)	指宿市	鹿児島県	72.8%	30,282 人/41,572 人
カテゴリー5 (70,000~249,999 人)	横手市	秋田県	95.9%	87,843 人/91,620 人
カテゴリー6 (人口 250,000 人以上)	下関市	山口県	68.7%	182,857 人/266,148 人

※2018年2月1日現在の人口



★各自治体の参加率やチャレンジデーに関する詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.ssf.or.jp/>